

電気火災にご注意ください

私たちの暮らしに欠かせない電気も、使い方を誤ると火災が発生する可能性があります。当本部管内でも、電気に関係する火災が発生していますので以下のことに注意しましょう。

主な電気火災の原因

・過電流

コンセントや延長コード（テーブルタップ）には定格容量（許容電流）が決まっています。たこ足配線などにより、定格容量を超えて一度に多くの電気機器を使用し続けると、過電流が流れ、発熱して出火する恐れがあります。

また、コンセントの差込数以内でも、定格容量を超えると危険です。

【例】電子レンジ（1300W）とオーブントースター（700W）を同時に使用する。

⇒電気機器の消費電力やコンセントや延長コードの許容電流を確認し、定格容量内で使用しましょう。

・トラッキング

プラグをコンセントに差し込んだ状態で、隙間にほこりや湿気がたまったまま放置しておく、トラッキング現象が起こり、出火する恐れがあります。

⇒プラグは定期的に乾いた布などで掃除しましょう。（手の届きにくい部分も忘れずに。）
また、プラグとコンセントに隙間がないようにし、水がかかったり、湿気がついたりしないように気をつけましょう。

・半断線

コードや配線がひっぱられたり、折れたり、踏まれたり、挟まれたりすることにより、配線の一部が切断状態（半断線）になり、その部分が発熱し出火する恐れがあります。

【例】配線が家具の下敷きになる。釘などで配線を強く固定する。

⇒配線コードがタンス・机など重い物が乗った状態やドアに挟まれた状態で使用していないことを確認しましょう。

・コードを束ねること等による過熱

コードを束ねたままの状態で使用すると、束ねた部分が過熱して出火する恐れがあります。

⇒コードを束ねたまま使用しないようにしましょう。



電気火災を防ぐポイント

- 1 たこ足配線をしない。(許容電流を超えて電気を使用しない。)
- 2 コンセントにほこりをためない。水をかけない。
- 3 電気プラグはしっかりと差し込む。
- 4 コードをひっぱったり、強く折り曲げたり、踏みつけたりしない。
- 5 コードを束ねて使用しない。
- 6 安全基準に適合した電気機器を使用する。(PSEマークが目印)

特定電気用品のマーク



特定電気用品以外の電気用品マーク

